

2011年度事業計画

外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業

■たぶんかフリースクール

目的

日本の中学校に入れず、学ぶ場や居場所のない子どもたち(学齢超過生と中学卒業者)や、荒川区の小学校高学年及び中学生に対して、毎日通えて日本語と教科を勉強できる学びの場と居場所を提供する。また、不就学や不登校の子どもたちを公立学校就学へ繋げるための「虹の架け橋事業(定住外国人の子どもの就学支援事業)」も実施する。最終的には高校進学につなげることを目的とし、外国にルーツを持つ子どもたちが教育を受ける権利を享受できる環境の実現をめざす。

事業内容

1. 「朝クラス」…荒川区「ハートフル日本語適応指導(通室による初期日本語指導)」対象
時間:週4回(9:00~12:00)内容:日本語
2. 「昼クラス」…主に学齢超過生及び母国で中学を卒業した生徒対象
時間:週4回(13:00~16:20)内容:日本語・教科の学習、受験サポート、居場所の提供
3. 「夜クラス」…小学校5年生~中学3年生対象
荒川区「ハートフル日本語適応指導(補充学習指導)」対象者を含む
時間:週4回(18:00~20:10)内容:日本語(国語)・教科の学習、受験サポート
4. 「通信制代々木高校 多文化共生コース」
外国にルーツのある子どもたちで、高校中退や母国で高校1、2年生を修了者対象に、通信制高校での学習をサポート。
5. 「虹の架け橋事業(定住外国人の子どもの就学支援事業)」
(文部科学省の拠出を受けた国際移住機関(IOM)から受託)
対象:義務教育段階の不就学・不登校の子ども
時間:週4回 午前もしくは午後(時間帯は生徒の状況に応じて適宜調整)
内容:日本語・国語及び教科(英語・数学)
6. ★新規「たぶんかフリースクール新宿教室」
多摩地区など日暮里まで通えない生徒の増加に伴い、新宿以西エリアで学齢超過生及び母国で中学を卒業した生徒対象に新たに教室を展開する。
時間:2011年8月~ 週4回 13:00~16:20
内容:日本語・教科の学習、受験サポート、居場所の提供

事業目標

小学校高学年、中学生、学齢超過、不就学、不登校の子どもたちへの日本語及び教科学習の学習を保障するとともに、居場所としての役割も果たす。高校進学を希望する生徒には進路についてのサポートも行う。多様化する子どもたちのニーズに応じて、多数のクラスを開講する。

■教育・進学相談

目的

外国にルーツを持つ子どものための教育・進学相談を行う。

事業内容

当センター及び進路ガイダンス実施時に、年間 70 件程度の相談を行い、外国にルーツを持つ親子へのサポートを行う。

■子どもプロジェクト

目的

以下の 2 つの活動を柱とし、子どもたちへの力づけ（エンパワメント）を行っていく。

事業内容

1. ボランティアによる学習支援 土曜日：15：30～17：30
ボランティアベースでの教科と日本語の学習支援を、週 1 回行う。基本的にはボランティア中心の運営で、マンツーマンによる指導を行う。
2. 子どもたちの居場所づくり
学習以外でも、同じ状況の子ども同士が交流する居場所づくりを目指す。

事業目標

年間 30 人程度の子どもに対して、ボランティアによる教科支援と居場所づくりを行う。

■日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス

目的

日本の教育事情にうとい日本語を母語としない親子のために日本の高校について、また進路・進学・教育制度全般について理解を深めてもらうことをめざす。

事業内容

東京都内で区部・市部に分け、多言語による逐次通訳の体制を組み、高校進学についての説明会と教育相談を年 6 回実施する。通訳は英・中・韓・スペイン・タガログ・タイ語の 6 言語を予定。当センターの他、「カトリック東京国際センター」「多文化共生教育研究会」「CCS 世界の子どもと手をつなぐ学生の会」「武蔵野市国際交流協会」「ピナット」「八王子国際協会」「IWC」「OC Net」で実行委員会を構成し、うち 2 回の事務局を当センターが担う。

事業目標

合計 200 名程度の日本語を母語としない親子に対して、進路、教育制度についての情報を提供する。ガイダンス後、個別でのフォローを実行委員会の団体がを行い、高校進学までのサポートを行う。

外国人の家族と子育て支援事業(ファミリーサポート事業)

■親子日本語クラス

目的

外国出身の親と子ども双方が、地域住民(ボランティア)と日本語を通して交流することで、日本語習得支援と居場所づくりを行う。また、日本語教室での交流などを通じて、親子日本語クラスの参加者や、フリースクールの保護者を中心に、生活上の様々な困難や家族の問題に対してサポートを行う。

事業内容

親子日本語クラス(交流型日本語教室) 土曜日:13:00~15:00(文化庁委託事業)

対象:外国人親※とその子ども(乳幼児~小学生)

※子どものいない外国人配偶者や、「たぶんかフリースクール」生徒の保護者など、子どもは小学生以上の親も含む

内容:生活や子育てに必要な日本語をボランティアとともに基本は1対1で学ぶ。

事業目標

外国人親15人と10人程度の子ども、その他の大人10名に対して、ボランティアによる日本語支援と居場所づくりを行なう。また、交流を通じて、年間30件ほど外国人の家族の問題や子育てなどのサポートを行う。

多文化共生のための人材育成事業

目的

多文化共生に関する研修への講師派遣、活動に関わるボランティアやフリースクール講師を対象とした研修、ボランティア講座等により、多文化共生社会を担う人材育成を行う。

事業内容

1. 講師派遣

国際交流協会や行政などが行う多文化共生関連の研修に対して40件程度の講師の派遣を行う。

2. 多文化共生のためのボランティア講座

多文化共生センター東京の活動やボランティア活動に関心のある方を対象に、月1回程度の講座を行う。内容は基礎的な知識などを中心に行う。

3. ★新規 地域と学校をつなぐためのボランティア養成講座(文化庁委託事業)

日本語や学習支援をしているボランティアを対象に、外国につながるの子どもたちの現状や日本語支援の現状などを学ぶ全11回の連続講座を開催する(5/28~8/6 毎週土曜日)

事業目標

1. 講師派遣(年40件)、2. ボランティア講座(年100人)、3. ボランティア養成講座(25名)を行う。

多文化共生に関する情報提供事業

目的

活動と理念に対しての認知を高め、多くの方に賛同・支援を頂くため、ニュースレター、Web／メルマガなどの媒体を使用し、広報活動を行う。当センターの活動と共に日本で暮らす外国人の現状や多文化共生への関心を社会に広める。

事業内容

1. 多言語情報提供

当センターで作成した多言語情報など、外国人にとって必要な情報を多言語で提供する。とくに web サイトについては、日本語版の改訂を行った後に多言語化を実施し、関連する団体などとのリンクも充実させる。

2. ニュースレター(みんぐる)

当センターの活動報告を中心に、多文化共生に関するテーマの広報誌を年4回発行する。

3. Web・ブログ

活動の報告、多言語での情報提供などをブログなども活用しつつ web 上で行う。「たぶんかフリースクール」ブログについては、多文化共生センター東京全体のブログに発展させる。Webについては、昨年度に引き続きリニューアルし、多言語版を完成させる。

4. メールマガジン(多文化 NEWS from Tokyo)

外国人関係ニュース、イベント、当センターの活動内容などのメルマガを原則毎月配信する。

5. メーリングリスト(多文化だより)

活動内容を報告する会員向けメルマガを毎月ML上に流しMLの活性化を図る。

6. ★新規「たぶんかフリースクール」ドキュメンタリー制作

2010年5月～2011年4月まで撮影したものを編集し、ドキュメンタリー作品等を制作する。

【撮影・監督】 金 紗愛

【目的】

- ・日本の教育制度の狭間にいる子どもたちの実情は、言葉で説明しても非常に分かりにくい。映像を通して、「たぶんかフリースクール」で学ぶ学齢超過生の存在、及び、「高校受験」に直面する子どもたちのリアルな姿を見てもらい、理解を深めてもらう。
- ・子どもたちと向き合う先生方を含む、サポートする側の様々な想いや苦難を知ってもらう。
- ・映像完成後はファンディングやボランティア募集等、広報ツールとして広く活用する。

7. ★新規 ロゴマークの制作と団体紹介紙パンフレットの改定

ブランディングの強化のため、団体のロゴマークを定める。あわせて、団体紹介の紙パンフレットを改定する。

事業目標

ニュースレターは年4回発行、メルマガ・「多文化だより」は原則毎月配信、ブログは毎週更新する。web サイトリニューアル、ロゴマーク、団体パンフレットは年内完成を目指す。ドキュメンタリー制作は、今年度中に完成させ、次年度に上映会実施を目指す。

2011年度予算

2011年度 特定非営利活動に係る事業会計収支予算書

				(単位：円)
科 目		金 額		
(経常収支の部)				
I 経常収入の部				
1	会費・入金収入			
	会費収入	1,300,000	1,300,000	
2	事業収入			
	(1) 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業	25,600,000		
	(2) 外国人の家族と子育て支援事業	1,350,000		
	(3) 多文化共生に関する情報提供事業	350,000		
	(4) 多文化共生に関する人材育成事業	2,660,000	29,960,000	
3	補助金等収入			
	民間助成金収入	1,800,000	1,800,000	
4	寄付金収入	5,000,000	5,000,000	
5	受取利息収入	1,000	1,000	
6	基金からの繰入金	2,691,000	2,691,000	
	経常収入合計			40,752,000
II 経常支出の部				
1	事業費			
	(1) 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業	31,340,000		
	(2) 外国人の家族と子育て支援事業	1,300,000		
	(3) 多文化共生に関する情報提供事業	2,000,000		
	(4) 多文化共生に関する人材育成事業	2,000,000	36,640,000	
2	管理費			
	給与手当	3,640,000		
	法定福利費	1,800,000		
	通信費	50,000		
	水道光熱費	520,000		
	旅費交通費	50,000		
	渉外費	240,000		
	租税公課	800,000		
	減価償却費	250,000		
	その他管理費	250,000	7,600,000	
	経常支出合計			44,240,000
	当期収支差額			-3,488,000
	前期繰越収支差額			11,230,766
	次期繰越収支差額			7,742,766

2011 年度役員

代表理事	王	慧	謹
専務理事	柴山	智	帆
専務理事	飯田	秀	夫
理 事	李	炫	澈
理 事	鈴木	江	理子
理 事	田村	太	郎
理 事	原田	麻	里子
理 事	福田	和	久
理 事	松尾	沢	子
理 事	風間	晃	
理 事	小林	普	子
理 事	多田	佳	明
監 事	鴻森	大	介